



同窓会役員紹介

平成22年度の同窓会総会において、会則第6条と第8条に則り、左記の方々が承認されました。

Table with columns for position (e.g., 会長, 副会長, 理事), name, and year of graduation (e.g., 50期, 51期).

小径の権

蛇の目傘差し里帰りしたる日を 想ひ出し居り芽吹き雨に 浴衣持ち着せてと寄れる孫娘に...

2010年度 総会記念講演会

「地学と私」を聴いて 講師 角田寛子先生



地球温暖化が問題となつて います。その原因や状況を知りたい... 地学の先生がたくさん...

TEACHER 心に残る部活の思い出 西島 満. Includes a photo of Mr. Nishima Mitsunori and text about his teaching experience.

講演紹介 昭和33年3月 群馬大学文学部 自然科学理科地学卒業... 角田寛子先生について.

「詩経集註」の部分. Includes a photo of Mr. Iwano and text about the Shijing collection.

松樹館だより 図書部 荒井充夫. Text about the library and a quote from the Shijing.





箱根旅行の思い出

昭和(高35) 羽島美穂

バスで日帰りの箱根旅行は冒険しつづつ、初めての箱根の旅を心待ちにしていた。自己紹介が一通り、そろそろ乗り物酔いが心配になった頃合いに、「これから、健康に関する講演をしていただきます。」とのアナウンスとともにレジメが配られ、講師として活躍の先輩が講師としてお話しして下さいました。

道中で軽い体操をしたり、面白い話に笑ったりして過ごすうちに箱根美術館に到着、心配は杞憂となりました。秋晴れにも恵まれ、車中から富士山を望むことができました。第十層ホテルの風情あるレストランでのお

京浜同窓会

昭和(高35) 梓洲リエ子

平成22年7月11日、東京プリンスホテル2階サンフラワーホールにおいて、第60回京浜同窓会が開催されました。当日は高輪よりご来賓の皆様、懐かしい恩師の方にもご臨席いただき、総勢1331名の盛大な宴となりました。

京浜同窓会幹事会長からは「理解し合える友達がありがたい」と、同窓会吉村会長からは「高校生という感受性豊かな時期を共に過ごしてきた」と、みなさん立派に成長されています。」と挨拶いたしました。その後、茂木校長からご祝辞をいただき、新井

食事も期待通りでした。

また本間青木美術館では、本間オーナー自ら張り切った説明をしていただき、世界的にも貴重な青木細工のコレクションを、興味深く拝見することができました。

箱根は、この日の旅行に快く送り出してくれた家族のために、老舗の蒲鉾をお土産に買い求め、往路の講義の続きを楽しく拝聴したり、友人と談笑したりして大いに楽しみました。

「笑いは健康の秘訣。今日の分は皆さん充分足りていますね。」とお言葉にまた笑い、時間を忘れて一日の行程を終えることができました。

副校長の乾杯の首領で和やかに会が始まりました。宴たけなわの頃、ソプラノ歌手矢島洋子さん(昭和)とピアノリストの吉田恵さん(昭和)のミニコンサートが始まりました。のびやかな歌声と美しいピアノ演奏を堪能した後、全員で「ふるさと」を合唱しました。

締めとなる恒例の校歌合唱の前に「校歌のハモリ方がよくわからない」という声が上がります。急遽、パート別の練習をすることになりました。指導してくださった幹事会長は、武蔵野音楽大学卒、音楽専科教師30年以上という経歴の持ち主。「口を大きく開けて」、「音階を伸ばして」と、厳しくも愛情あふれるご教授をいただきました。練習の成果

日常に戻って振り返り、高女同窓会の旅行が素晴らしい

日常に戻って振り返り、高女同窓会の旅行が素晴らしい。本間オーナー自ら張り切った説明をしていただき、世界的にも貴重な青木細工のコレクションを、興味深く拝見することができました。

この度の快活な旅行に際しましては、幹事の皆様に大変ご尽力いただき、ご配慮賜りましたことをご心より感謝申し上げます。

再び皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

副校長の乾杯の首領で和やかに会が始まりました。宴たけなわの頃、ソプラノ歌手矢島洋子さん(昭和)とピアノリストの吉田恵さん(昭和)のミニコンサートが始まりました。

締めとなる恒例の校歌合唱の前に「校歌のハモリ方がよくわからない」という声が上がります。急遽、パート別の練習をすることになりました。

新年会

昭和(高34) 笠井美穂

去る2月6日、高輪ビューホテルあかぎの間で、高女同窓会の新年会が開催されました。当番期は昭和、東武町校舎最後の卒業生です。

立春を過ぎながら当日はあいにくの曇天でしたが、会場には受付開始30分以上前から、多くの同窓生が訪れ、あちらこちらに談笑の輪ができました。

開会のことばに続き、吉村会長の挨拶、茂木校長の祝辞と、会は南々と進んで行きました。校長先生から、高校総体総合優勝、現役高女生の頑張っている様子が伝えられます。

祝賀が始まると、会場内はあちこちで談笑したり、写真撮影の姿が見受けられ、和やかな雰囲気になるました。そしてアトラクション「今年

をひとつ、ホテルの担当責任者のお母様も高女同窓生のこと、おかげで、広くてゴージャスな会場、全8皿の高級中華料理、潤沢な飲み物、白いグラインドピアノ等、至れり尽せりのサービスをしていただきました。高女の輪の広がりを感じた出来事です。

コール椎樹

12月12日(日) 10時過ぎ、高女椎樹を訪ねた。コール椎樹の練習は、毎月第2日曜日、10時~12時に行なわれている。

小林扶佐子さん(昭和)の指揮のもと、40名近くのメンバーが集い、楽しそうにピアノで練習している。ワフルに練習に励んでいる。「体を楽にする」に無理なく声が出るように、手振りを振りながら練習している。

この日は、「ホテル」、「今日もひとつ」、「曇りの日なら」を練習していた。コロコロ跳ねるような歌声。ハーモニが心地良い。聴かされる。

メンパーは歌が好きで集まった方々で、巾着の歌に盛り上がり、高女創立周年演奏会を機に、参加したメンパーも多い。メンパーの皆さんは、

若々しい声を保っている。継続は力なりだ。練習が始まって一時間歌ったところでアメが配られた。

一つ一つの曲をつくり上げていく過程を通して、年齢を越えた連帯感が生まれる。歌い終わった後の清々しさを、多くの人に体感して欲しい。練習会場には手製の楽譜が用意されているので、皆さんも気軽に練習に参加してみたいかがでしょうか?

期別同窓会

卒業五十周年同窓会(昭和) 越中喜美子

折り返し数えていた50年ではなく、気がついたら50年経っていました。

同窓会の新年会の席上で、来年は卒業して50年になるという話があったのがきっかけで、50周年の同窓会をすることになりました。以来1年8カ月の準備期間を経て、平成22年10月27日、同窓会が実現しました。

出席者は146名。亡くなった方も、住所のわからない方を除くと、当初おもっていたより、はるかに多い方々のご出席をいただくことができました。

乾杯の後に先生方にお話しをしていただき、お元気で活躍なさっている様子を、伺い知ることができました。何いもお料理をいただいたながらの歓談では、高女生の頃の思い出話、近況について等々から次へ次へと話が弾みました。

電話番号やメールアドレスを交換している姿も見られ、新しいネットワークが作られているようでした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、会の終わりに、校歌を全員で合唱し散会となりました。

74期同窓会

平成22年1月3日、ホテルメトロポリタン高輪にて、第2回学年同窓会を行いました。

90余名の同窓生が集い、石井次男先生、角田寛子先生、藤原一先生、練習生先生にもご出席いただきました。

卒業後初めての同窓会から5年。5年間は短かったよう気がしています。

乾杯の後に先生方にお話しをしていただき、お元気で活躍なさっている様子を、伺い知ることができました。何いもお料理をいただいたながらの歓談では、高女生の頃の思い出話、近況について等々から次へ次へと話が弾みました。

電話番号やメールアドレスを交換している姿も見られ、新しいネットワークが作られているようでした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、会の終わりに、校歌を全員で合唱し散会となりました。

次の同窓会は平成29年(60歳の年)を予定しています。また、お会いしましょう。

73期同窓会

73期(高26) 廣瀬節子

55歳113回目の同窓会だ。話し足りないという声があり、倉田町はまゆう山荘に宿を取った。

7月3日(土) 私は前のバスに同乗して、1時に高輪駅まで皆を迎えに行った。24名

とが出来ました。会も終盤にさしかかり、当番期引継ぎ、来年度の総務旅行の案内等の連絡の後、73期の広瀬さんより「ぐんまの姉妹」に高女校友会誌の第1号が展示されていると伺い、改めて百一年の歴史を感じさせられました。

最後は、恒例の校歌合唱でしたが、半数以上の方が歌詞を見ずに歌う姿に、高女生の矜持を見た気がしました。

乗車。運賃神や小栗氏ゆかりの地を見学しつづへ。車でくる人もいるので計4名参加。当日はロビーでピアノコンサートがあり、1時間ほどは賑やかな雰囲気。入場、久々の再会を喜んだ。

母校の近況

●ソフトテニス部

28年ぶりの快挙!!
ソフトテニス部は、去る12月18日に行われた関東選抜群馬県予選会において強豪健大高崎を破り優勝を果たすことができました。高女の県大会団体優勝は実に28年ぶりの快挙です。今年は無観戦、インターハイ予選、新人大会と全て決勝で敗れていた相手ですが、昨夏のインターハイ団体3位の強豪チームに対して勝つことなく向かっ



ていき、気迫で相手を上回り栄冠をつかむことができました。関東選抜では力を発揮できずに終わってしまいましたが、主力メンバーは2年生1ペアと1年生2ペアと若いチームであり、8月のインターハイを目指して練習に励んでいきます。

●マンドリン部

3年ぶり最優秀賞獲得
7月に大阪府吹田市で行われた全国フェスティバルで2年連続の最優秀賞を獲得することができました。8月以降、1・2年生が主体となり、全国フェスティバルに向けて新しい合奏曲、「詩人と農夫」序曲に取り組み始めました。年が明けて2月11日に開催された県コンクールで、2年ぶりの最優秀賞・

最優秀賞を獲得し、今年も夏の全国フェスティバルに推薦していただくことになりました。OG会を始め多くの方に支えていただき、最優秀賞を奪回することができました。ありがとうございました。5月3日には定期演奏会が高崎市文化会館で開催されます。楽しい演奏会になるよう努力しますのでご来場をお待ちしております。



●国際舞台へ

2年生の井田恵里香さんは、昨年11月に中国で行われた広州アジア大会に、クリケット女子日本代表として最年少で選ばれ、レギュラーとして参加し銅メダルを獲得しました。クリケットは、世界では

競技人口がサッカーに次いで第2位といわれる人気のスポーツです。代表15人中唯一人の高校生である恵里香さんは現在、11月にバングラデシュで行われるワールドカップ最終予選への出場を目指し、練習に励んでいます。今後、世界の舞台での活躍が期待されます。



●主な部活動実績

- (平成23年3月24日現在)
(運動部)
●全国大会出場
○山岳部 5年連続県団体優勝 インターハイ登山団体女子8位
○新体操部 インターハイ 団体14位 個人30位
国民体育大会 群馬選抜団体4人出場 15位
○水泳部 インターハイ 800M自由形11位 400M自由形13位
(文化部)
●全国レベルでの受賞等
○音楽部 全国総文祭参加
○書道部 全国学生書道展 団体全国準優勝校
○マンドリン 全国ギターマンドリンフェスティバル最優秀賞
○百人一首部 全国総文祭 2名参加
○放送部 NHK杯全国高校放送コンクール出場 全国総文祭参加
○文芸部 全国高校文芸コンクール文芸部部門優良賞・小説部門入賞
(その他)
○第30回全国高校生読書体記コンクール 学校賞

Table with 4 columns: University Name, Number of Graduates, University Name, Number of Graduates. Lists various universities and their graduate counts for the 22nd graduation year.



48期(女48) 浦野文子

昔ばなし
今から半世紀以上も前の事になる。思い出せば、つい先日のように思うのだが、就職後の事だった。

近に隠しておくかも知れなかった。「北高崎駅4時の発車に、15分前」。
就職先が教えてくれる。校門を出て10分前まで駅に着きしなればならない。先ずは靴を脱いで校門を出て成功する。露地から露地を走って渋谷街に出ると、北高崎駅の踏切が見える。「一走れ、急げ急げ急げ」。4時発の列車はすでにホームで待っているのだ。
「ボー」と列車は大きく揺を吹いて発車していった。一瞬の間が真暗闇となり、全身の力が失せて道端に座っていた。「ボーボー」発車したはずの列車は「一歩遅い」「おーい、早く来い。遅れ遅れ、待ってるぞー」。
機関士が走り始めた列車を止めて、手招きしているのではない。私を叩いているのだ。足が動かない。心臓が止まってしまった。それでも機関士は、ようやくたどりつく事ができた。
2人の機関士は若々しい顔。4本突き出して、高女の生徒を2人ずつ、6人機関室に引上げた。私は燃え盛る火の粉を逃れる術がない。ぐたぐたと折重なって失心した。
「高女の敷多いファンも、この体たらくを見たら幻滅だね。あ、ワハハハハ」。
「群馬八幡、群馬八幡駅」。その声に私たちは、はたと立上がり機関車から飛びおりた。「有難うございました。大変お世話になりました。お帰りで助かりました。この御恩は」。私は知っていた。限りの礼物を並べ立てた。
汽車は一声をあげて走り出した。私はその後姿に両手を合わせて見送った。
遠い昔の夢のような思い出話だ。汽車は乗客の為に一生懸命働いてくれた時代だった。どんなに無理をしたとて事故が起きた話など耳にした事は一度もなかった。感謝の言葉である。

顕彰

57期(高10) 岡田裕子さん
瑞宝双光章
(調停委員功労)

43期 柴田キミ子(前橋市)
ずっと昔の学生時代を思い、懐かしく若い皆さんの活躍が嬉しく拝見いたしました。

62期 寺田幸子(富岡市)
創立40周年に参加できずでしたが、同窓会報で記念展覧会・演奏会の様子が

65期(高10) 渡邊やよい
少し涼しくなった9月27日、10月22日の2日間、本部役員4名と常任幹事12名で、椎樹館事務室の整備をしました。椎樹館設立から間もなく30年、大規模な整理は初めてです。東広町から運び込まれた貴重な資料、写真、そして椎樹館での活動の記録が積み重ねられ、いっしょになっていました。吉村会長の御挨拶で、資料の整理と記録、写真展覧、スリッパ等の整理、文書類の整理など、全員が休む間もなく、まさに「日目を終えました。大業に出た不

た。今年で80歳になりました。
44期 早利和子(前橋市)
いつも懐かしい校歌を口ずさんでいます。
45期 小野重喜(文芸部)
過ぎし日の事思い出してあります。平和はいいですね。戦時中の女学校です。今は幸せです。
50期 今川敦子(大分市)
昭和36年卒業ですが、就職間もない頃の高崎はすっかり様変わりしましたね。母校の緑々の芝原をお祈りします。77歳です。
57期 佐々木アサノ(蓮田市)
古橋を迎えても、母校より便りが届きますと、椎の木の大木と木造の校舎、大きな校章の複製を思い出します。母校の発展を祈念致します。
59期 今井純代(群馬県)
高女創立40周年記念展覧会、演奏会の写真、拡大鏡で「コマコマじっくり拝見し知り合いを見つけた興奮しました。
62期 寺田幸子(富岡市)
創立40周年に参加できずでしたが、同窓会報で記念展覧会・演奏会の様子が

北から南から

ラードとしても長く分り、40年前の高校生活が懐かしくなりました。
80期 中村律子(西東京市)
高3のクラスで3年に一度

椎樹館事務室 清掃・整備



2日目、必要な資料の分類・整理です。周年事業はその分類で、総合関係、写真、会報など、これからの活動に参考となるよう戸籍に並べました。総会、期別幹事会などの集まりに使用するスリッパ、茶道具類の整理、カーテンも新しくして、中で小会議もできるくらいの部屋になりました。

同窓会をしています。人生晴れたり曇ったり。そばにはいつも高校の友達たちの支えがありました。感謝の気持ちでいっぱいです。

あとがき

昨年は高女創立以来10年の歴史に思い加わった一年であり、同窓会にとっては記念年でお伝えしたように、同窓生が母校への親愛をこめて、晴れやかに賑やかに集った。その余韻を残して、平穩に過ぎた年でありました。
しかし、国内外には困難な問題が多くあり、この先平和が維持できるのか、国家の財政は大丈夫なのか、子どもや孫の時代はどうなっているのだろうか等、不安を消せずにおりました。「無縁社会」こんな言葉が生まれるとは、なんともやりきれない思いでもありました。一方ノーベル化学賞をお二人の先生が受賞、小水原直樹「はやぶさ」の帰還等、未来へ夢を描ける出来事も多々ありました。
変化の激しい時の流れの中で、今、こんなことを考えています。同窓会は、会員の喜びも悲しみも全て受け止めていつも変わらず母校と共にある。静かに見守るとは、そういうことかもしれない。

- 編集委員会
62期 吉村裕子、63期 吉野裕子、64期 梅原裕子、65期 大川悦子、66期 金子裕子、67期 岡田裕子、68期 香田裕子、69期 岡田裕子、70期 林いづみ、71期 岡田裕子、72期 冬木裕子、73期 岡田裕子、74期 野野原江、75期 岡田裕子、76期 川田裕子、77期 岡田裕子、78期 大野裕子、79期 岡田裕子、80期 岡田裕子、81期 岡田裕子、82期 岡田裕子、83期 岡田裕子、84期 岡田裕子、85期 岡田裕子、86期 岡田裕子、87期 岡田裕子、88期 岡田裕子、89期 岡田裕子、90期 岡田裕子、91期 岡田裕子、92期 岡田裕子、93期 岡田裕子、94期 岡田裕子、95期 岡田裕子、96期 岡田裕子、97期 岡田裕子、98期 岡田裕子、99期 岡田裕子、100期 岡田裕子